

なか/べつ 農協だより



第124号

昭和60年4月

発行 中標津町農業協同組合
編集 営 農 部
印刷 アート印刷株式会社



4

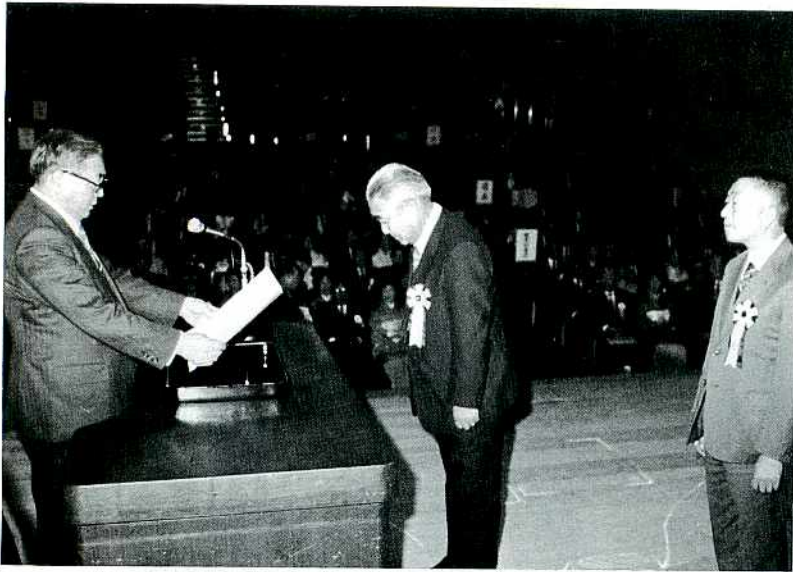


昭和59年度

北海道優良農協に わたしたちの農協が受賞!!

この度、全道優良農協として
北農中央会より表彰を受けまし
たが、この事は組合設立以来、
幾多の困難を乗り越え、今日の
中標津町農協を作り上げてこら
れました数多くの組合員による
力の結果の賜と深く感謝を申し
上げる次第です。

また、直接運営に当ってこら
れました多くの先輩役員及び職
員の努力も大きな力となったこ
とは、言うまでもありません。
今後は、この荣誉ある表彰に
恥ないよう役職員一体となり、
一層の努力を致す所存でござい
ますので、組合員の皆様方にも
益々のご協力を宜しくお願い申
し上げます。



床鍋中央会会長より表彰をうける
児玉組合長と三浦参事

豊かな北海道農業へ

北海道農業協同組合中央会
会長 床鍋繁則

北海道優良農協・実績優良農協および農協功労者表彰に輝くみなさまに、心からお祝いを申し上げます。この表彰は、本道農協系統にとりまして最高の荣誉であり、深く敬意を表する次第であります。

今日の農業・農協の発展は、厳しさの中にもめざましいものでありますが、その歴史をたどってみますと、産業組合以来、つねに難局の克服に果たしてきた「協同の力」の偉大さを忘れることができません。

本日、表彰の栄に輝くみなさまの足跡にも、「協同」の旗印のもと貢献された業績は数多く、今日の繁栄の礎を築かれた功績は、筆舌に尽くしがたいものであります。

本道農協系統組織では、いま新時代農業をめざして「北海道農業基本構想」の実践に取り組んでいます。同構想の推進も「協同の力」に期待するところ大なるものがあります。

特に、これからの時代はハイテクやニューメディアに象徴される超近代化・国際化時代を迎え、自から学習し、高度な判断力のもとに対応することが一層重視される状況にあります。

そんな環境のもとで、永年にわたって培われました貴重な経験をもとに、ますますご健闘で農協運動の発展に寄与されますことを祈念し、お祝いのご挨拶といたします。

人事異動

■新入職員■

よろしく お願いいたします



石毛 陽子

(生活課生活店舗係)

生年月日 昭和41年5月7日

中標津高等学校商業科卒



田中 しげ

(生活課生活店舗係)

生年月日 昭和41年5月18日

中標津高等学校商業科卒



川村 則子

(生活課生活店舗係)

生年月日 昭和39年10月9日

中標津高等学校商業科卒



塩澤 裕美子

(営農資材課生産資材係)

生年月日 昭和41年6月15日

中標津高等学校普通科卒



鳥羽 まゆみ

(金融共済課金融係)

生年月日 昭和42年1月27日

中標津高等学校商業科卒



赤波江 かおり

(企画管理課管理経理係)

生年月日 昭和41年6月26日

中標津高等学校商業科卒

■退職者■

大変お世話になりました

川崎 靖子

(金融共済課金融係)

新井 英子

(金融共済課金融係)

田中 三子

(営農資材課生産資材係)

熟年会 冬期研修 盛会におわる!!

中標津町農協熟年会では、二月二十六日から二十八日までの三日間にわたって、弟子屈銘別にて、冬期研修を行い、七十名の参加を得た。

第一日は、老人の健康管理についての講習と農協の事業概況報告。

まず町役場の白金保健婦さんによる老人の「ボケ対策」。老人になると、運動と考えることが少なくなるので「ボケ」やすくなる、もっと若い者に負けないように運動し、頭を使わなければだめだと、映画を使つての講義を受けた。

次に高橋管理部長からは、農協の事業概況報告と年金のお話があり、後はゲーム等で楽しいひとときを過ごす。

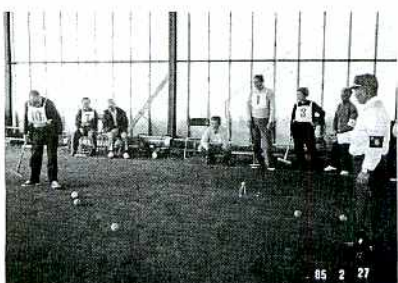
第二日は、日頃自慢の腕前を存分に発揮?のゲートボール大会

- 一位 武佐チーム
- 二位 第二俣落チーム
- 三位 俣落Aチーム

会員の感想「こんな楽しい愉快な研修は何回あっても良い。また会おうね。」



熱心な研修風景



ゲートボールで楽しいひととき

格・関連対策決まる!!

事故率の低下等による生産性の向上と肥育素牛の安定的な供給に資するよう、酪農経営が乳用雄子牛の哺育育成の開始・増頭を行った場合に奨励金を交付するとともに、哺育育成センターにおいて乳用雄子牛の哺育育成を行う場合に奨励金を交付する。

(2) 酪農対策 <50億>

① 酪農負債整理資金の融通<利子補給額21億>

昭和56年度から貸付が行われている酪農経営負債整理資金について、負債整理計画に対する最終の対策を講ずることとし、60年度以後の酪農経営の安定が図られるよう、利子補給基金の拡大等所要の措置を行う。

② 酪農経営安定特別対策 <1億>

酪農経営の安定的発展を図るため、酪農家段階における課題及びその解決方向についての調査検討並びに後継者の確保、乳肉複合推進等経営改善のための啓蒙を行う。

③ 飲用牛乳市場正常化対策事業 <13億>

(ア) 生乳の用途別計画生産を的確に推進し、飲用牛乳の流通の混乱を改善するため、生産者団体が需要の変動に伴う飲用向生乳の余乳の廉売を防止するよう加工向けとの差額につき、とも補償を行う場合に所要の助成を行う。

(イ) 飲用向け生乳流通の適正化を促進するた

めの活動に要する経費につき助成する。

(ウ) また、発酵乳等向生乳取引の円滑化を通じて生乳需要の増大を図るため、発酵乳等向生乳取引の確認等に要する経費につき助成する。

(エ) 発酵乳等の製造工場において、生乳等を直接使用しうる施設等の整備を促進する。

④ 飲用牛乳消費拡大対策 <11億>

従来行ってきた幼稚園児等の牛乳飲用の促進、その他飲用牛乳の消費拡大のための対策を引き続き推進する。

⑤ 乳肉複合経営等の推進対策 <4億>

酪農の安定と優良な肥育素牛の供給拡大を図るため、酪農経営内における乳用雄子牛の哺育育成の開始・増頭及び地域内の酪農経営者との組織的な連携の下に行う乳用雄子牛の共同哺育育成を行う者に奨励金を交付する。

(3) 食肉流通消費改善対策 <23億>

食肉の流通改善と消費者価格の安定を図るため、肥育期間の短縮等により低コストの牛肉生産を行い、合理的な価格で牛肉を供給する肉用牛経済肥育技術定着化事業、国産若齢肥育牛肉流通消費促進事業、食肉小売店における適正表示等を推進する食肉消費改善普及事業、規格部分肉の流通を促進する食肉規格取引推進事業等を推進する。



昭和60年度 畜産物価

農水省は3月29日、60年度の酪農・畜産物価格並びに周辺対策を自民党に説明し、了承を得られたことで、系統組織挙げて取り組んだ農民春闘は終息した。

詳細は別記のとおりであるが、限度数量の8万トンの上置きがあったものの、価格は全くの据置き、関連対策費も前年を大きく下廻るなど、要求内容とはほど遠いものであり、極めて不満の残る結果となっている。

60年度畜産物政策価格(キログラム当たり)

		59年度 政府決定	60年度政府決定	60年度 農協要求
加工原料乳	保証価格	90円07銭	90円07銭	99円78銭
	基準取引価格	69円18銭	70円17銭	
	限度数量	222万'	230万'	253万'
豚(皮はき上物)	安定上位価格	780円	780円	824円
	中心価格	689円65銭	689円65銭	729円
	安定基準価格	600円	600円	634円
牛(肉)	去勢和牛肉 安定上位価格	1,820円	1,820円	1,913円
	中心価格	1,608円25銭	1,608円25銭	1,693円
	安定基準価格	1,400円	1,400円	1,473円
その他(肉)	去勢和牛肉 安定上位価格	1,455円	1,455円	1,548円
	中心価格	1,285円34銭	1,285円34銭	1,370円
	安定基準価格	1,120円	1,120円	1,192円

2. 畜産物価格関連対策

昭和60年度畜産物価格関連対策として、次の事業を推進する。

(1) 肉用牛対策 計117億

① 肉用牛経営合理化資金の融通助成〈利子補給38億〉 全体3ヵ年 500億

肉用牛経営の安定合理化を図るため、農協等融資機関が、その自助努力により、関係団体等と一体となって、昭和60年度から3ヵ年計画で、既貸付金の条件緩和等の措置とともに、長期低利資金(末端貸付利率5パーセント〈特認3.5パーセント〉、償還期限7年以内〈特認10年以内〉、据置期間3年以内)の融通を行う場合、一定の利子軽減助成(年3パーセント〈特認3.5パーセント〉)を行う。

② 肉用子牛価格安定対策〈15億〉

最近における肉用子牛価格の低落状況にか

んがみ、都道府県肉用子牛価格安定基金協会の交付準備金に不足が生ずる場合に、その協会に対し資金の貸付けを行う全国肉用子牛価格安定基金協会の融資準備財産の拡充等を行う。

③ 肉用子牛の生産奨励対策〈37億〉

肉専用種の繁殖経営の規模拡大を促進するため、繁殖雌牛の規模拡大を行った繁殖経営に対し、子牛生産拡大奨励金(子牛1頭当たり2万円)を交付する。

また、肉用子牛の平均価格が30万円を下廻った場合、繁殖雌牛の飼養規模を維持する繁殖経営に対し、子牛生産維持奨励金(子牛1頭当たり1万円)を交付する。

④ 肉用牛生産の定着化促進対策〈23億〉

(ア) 農協等が肉専用種雌牛子牛等を購入し、一定期間農家等において委託飼養した後、これを合理的な子牛生産経営の担い手に譲渡する場合、1頭当たり1万1千円の奨励金を交付する。

また、繁殖雌牛の増頭のため、肉用牛経営において、家畜市場等から購入した雌牛に種付し、受胎の確認をした場合、1頭当たり2万円の奨励金を交付する。

(イ) 組織的かつ合理的な肉用牛生産の推進に資するため、肉用牛価格の変動に対応してして低利の肥育素牛導入資金を供給する。

⑤ 乳肉複合経営等の推進対策〈4億〉

表1 てん菜育苗管理基準

生育時期	おら い	管 理		温度管理の方法	そ の 他
		灌 水	温 度		
① 芽切りまで	早く整一に芽切りさせる。	苗床に紙筒を設置した後、紙筒の底部まで十分水が浸透するよう1冊当り10-15ℓの水を数回に分けてかける。	25℃程度に保つようにし30℃を絶対こさないように。夜間は5℃以下にならないようにする。	2重トンネル保温マットは昼夜ともかけて、保温と乾燥防止に努める。温度が30℃をこえる場合はトンネルの根およびハウスの戸を開けて温度の調節をする。	紙筒10cm上に温度計を設置する。夜間は2重トンネルの上さらにシートをかける。
② 芽切りから発芽揃いまで	早く整一に発芽させ胚軸の短い苗をつくる。	発芽が始まった頃散水を行い、土壌表面を膨軟にする。	15℃程度に保つようにし20℃をこさないように。夜間は5℃以下にならないようにする。	2重トンネル保温マットは夜間のみかけ、日中の苗やけ、夜間の凍害に注意する。	夜間は2重トンネルの上さらにシートをかける。
③ 発芽揃いから定植10日前まで	健苗に育てる。	紙筒内の土壌が乾き過ぎ(土の表面から2cm以上乾いた状態)ない限り、灌水をひかえる。	温度は上らぬように夜間は0℃以下にならないようにする。前半は高日に半ばから徐々に外気温に近づけるようにする。	ハウスの根や戸を開けて温度を調節する。	開引は早目に行う。立枯病防止のためダチガレン液剤を散布する。 「苗すらし方式」は、は種後25日を目途とし、発根・土壌水分状態をみながら行う。
④ 定植10日前から定植まで	苗を外気にならす。	定植前日の午後まで灌水しない。午後からは紙筒の底部まで水が十分浸透するよう灌水する。	外気に慣れ近づける。	ビニールの根や戸を完全に開放する。	苗に雨かからぬように注意する。

宮農技術

てん菜栽培のポイント

北根室地区農業改良普及所

表2 苗づくり不良の原因と対策

症 状	原 因	対 策
1 全般に苗の発芽が悪い。	かん水不足、肥料の過剰	●水を十分に与える。適正施肥
2 発芽にむらがある。	かん水むら、肥料むら	●管理に注意
3 ポット表面が白い状態。	肥料の過剰	●水を散布し肥料をうすめる。
4 ハウスの両側は良いが中が発芽しない	種子が続いている	●晴天の日はマットをはがす。
5 発芽したが後の生育が悪い、葉が淡黄色となる。	肥料が不足	●液肥等の追肥を行う。
6 地ざわりから倒れて枯ていく。	ほとんど立枯病	●ダチガレンの液剤を散布する。
7 ポットに白いカビが発生する。	湿度が高い。 ポットにすき間が多い。	●水分を蒸発させる。ポットにすき間が出来ないように設置する。
8 根の伸長が悪い。	かん水過多、肥料過剰	●管理に注意
9 葉がドス黒く、水浸状に枯れる。	霜害、凍害	●夜間の保温、直射日光を当てない。
10 葉柄が長すぎる。	高温障害	●温度管理に注意
11 葉が赤紫色を帯びてくる。	肥料不足(特に磷酸)	●磷酸分の多い液肥を散布する。
12 葉に褐色～黒褐色の斑点がつく	斑点細菌病	●スポット状に発生する場合は多いので取り除いて薬剤で防除する。 ●液肥刺激は中止する。

本年もてん菜の育苗期に入り、基本技術を守って、丈夫な苗を作りましょう。

一、育苗期は水管理と温度管理の内容を再確認して、健苗育成につとめましょう。

二、作付予定は場の早期融雪四月に入り、かなり雪どけが

進んでいます。ほ場の条件により、吹きだまり・防風林の陰など雪の多い所がありますので、排除して融雪を早める必要があります。

全面的に雪が残っている場合には融雪資材の散布やトラクターの走行によってほ場面を露出させると融雪が早まり、早期定植へ向けての準備となります。

三、定植期以降は排水対策

昨年は定植期以降、高温少雨という最高の条件が与えられたため、活着とその後の生育は非常に順調に経過しましたが、平年の天候では、五月下旬～六月上旬は低温・多湿という条件が多いので、いかに排水対策を行うかが重要です。

①中耕・除草作業(カルチベータ)は苗活着後、雑草の発芽直前に第一回目を行います。その後は雨降後、水がひけてから作業を行います。七月月上旬までに五回を目途とします。

②中耕・除草作業(カルチベータ)は苗活着後、雑草の発芽直前に第一回目を行います。その後は雨降後、水がひけてから作業を行います。七月月上旬までに五回を目途とします。

中標津通信員だより

南中の滝場さんのD型ハウスの中で、今年もビートのペーパーポットへの土詰め、は種の共同作業が始まりました。

十戸程のビート耕作農家により三月二十三日から十日位の日程で作業が進められ、出来上ったペーパーポットは、それぞれの耕作農家に引き取られて行き



つて、地温を上昇させるかが、「カギ」となります。

①移植後、早急に「畦間サブソイラー」を入れる。(三畦用、深さ三十～四十cm)

ただし、ほ場の中央部が低い場合やほ場が大きな起伏がある場合は、逆に水が集まって湿害を受けるのでやらないでください。



第十四回理事会

開催月日 三月七日

開催場所 農協役員会議室

〈議案〉

一、役員報酬審議会委員の選任について

七地区より組合員代表七名と学識経験者から二名が新委員として選任され、委嘱される事に決定しました。

【新委員】

- 当幌地区 奥田勝佳さん
- 中標津地区 松隈健二さん
- 俣落地区 岩井 昇さん
- 武佐地区 白田慶和さん
- 第二俣落地区

弾正原正春さん

- 開陽地区 高平幸夫さん
- 俣橋地区 西崎兵八さん
- 学識経験者 遠藤太一さん
- 学識経験者 石崎多門さん

二、市場金利運動型貯金(MM

C)の取扱について

- 商品名 期日指定定期貯金
- 預入単位 五千万円以上で百万円単位
- 期間 一ヵ月以上一ヵ月
- 利率 日銀の示す金融市場(CD)平均利率から〇・七
- 五%低い利率(毎週変動する)

受入限度 自己資本の七十%以内

取扱開始 六十年三月一日

金利の設定については組合長に一任願う事で承認され、原案どおり決定しました。

三、各種料率の検討について

一部検討課題は次回理事会に諮り現行どおりとする事に決定しました。

四、出資金の減口について

原案どおり決定しました。

五、正組員の異動と資格審査

について

加入者・脱退者・脱退予告者、各々承認され原案どおり決定しました。

六、農薬市況対策について

〇対策金

一、四一五、一六〇円

〇内訳 1kg当り

- ダコニール 一五〇円
- グリーンタイセン 三〇円
- 〇支出期日及び方法
- 昭和六十年三月八日
- クミカン振込み

原案どおり承認され決定しました。

七、昭和五十九年十二月末組勘

精算残の借入申込の追加について

一部条件整備を要する件を除

き割賦貸付が決定しました。

八、昭和六十年度組合員勘定資

金供給認定について

一部条件整備を要する件は

保留し、他は全件認定され決

定しました。

九、昭和六十年度各種資金需要

申込について

一部を除き次のとおり承認

され決定しました。

〇農協農機具購入資金

事業費 二十件

融資額 四、七〇〇千円

融資額 四、四五〇千円

〇総合施設資金

事業費 一件

二〇、〇〇〇千円

融資額 一八、〇〇〇千円

〇農協割賦

事業費 一件

融資額 五、二〇〇千円

融資額 三、八〇〇千円

〇農地取得資金

事業費 一件

融資額 二、九七五千円

融資額 二、三七〇千円

〇農業近代化資金

事業費 十件

融資額 三、一〇〇千円

融資額 二、七、三四〇千円

〇自作農維持資金

融資額 二、五、二二〇千円

〇住宅資金

事業費 五件

融資額 六〇、〇〇〇千円

融資額 三、三、四〇〇千円

〇町農業後継者改良資金

〇後継者農業振興資金

事業費 八件

融資額 四、二、三四〇千円

融資額 二、三、〇〇〇千円

〇畜産近代化リース

事業費 十一件

融資額 三、六、九三三千円

融資額 三、六、九三三千円

〈協議事項〉

一、昭和六十年各部署事業計画骨子(案)について

第五回役員協議会に付議

二、職員の定年延長について

定年延長を年度内に実施することになりました。

三、事務所(金融店舗)の増改築

について

地区別懇談会・総会等で説明する。

四、第三十八回通常総会の日程

について

日時 昭和六十年五月一日

場所 中標津町 寿宴

五、肉牛生産センター及び俣橋

Bセンター 肥育牛・育成牛の

棚卸について

日時 三月二十二日・二十

三日の二日間

〈報告事項〉

一、昭和五十九年度収支見込

(二月末)について

二、自治監査実施結果について

三、昭和六十年の酪農畜産政

策価格要求運動の酪対役員会

の協議経過について

四、業務用車輛の更新について

五、乳牛飼養頭数調(60年2月

1日)について

●中標津乳牛検定組合● 乳検事業について

乳検事業も経過の中で十年を得て実施しています。

数え、新たに、乳検委託事業が事業実施主体の民間団体移行五年計画の補助事業として、発足しています。

事業の内容は継続事業で、新たに後代検定事業が加わり、各自生産者が参加協力することになりました。

事業の性格から、全頭加入受検が立て前で、自主的な加入を

(イ)記録成績の計算方
(ロ)一日当り
出荷乳量
の報告
二、繁殖情報
について
希望者のみ
年額六〇〇〇
円、個人負担
です。希望者
は乳検事務局
へ申込んで下
さい。

等々の改正があります。
一、乳検成績等の改正
尚、四月より、一部乳検成績
各位の意欲を促したい。
・酪農経営の安定に努めるよう
の選抜淘汰を行い、牛群の改良
集録と結果成績を得て、牛個体
ることに努め、記録データの
摺加入でなく、全頭加入受検す
得て実施しています。

シリーズ 牛乳の効用①

牛乳を食後に飲むと 胃の中に入った 発ガン物質が 見事に無毒化される

埼玉医科大学教授 矢野一行

●胃ガン物質が 胃の中につくられる

今日、人間のすべてのガンの八〇〜九〇%は、生活環境に原因のあることがわかっています。たとえば欧米の男性では、すべてのガンの約三〇%はタバコ、もう三〇%は食事によるものと推定されています。女性の場合は、六〇〜七〇%が食事によるものといわれます。欧米に比べて胃ガンが多く、肺ガンが少ないのが特徴で、食事が占める割合がさらに大きいと思われま

生活に注意することは、ガン予防の上で非常に大切なことです。故・瀬木三雄博士(東北大学名誉教授)らは、ハワイに住む日本人の食事を調査し、和風食をとる人に胃ガン患者が多く、洋風食をとる人に胃ガン患者が少ないという研究結果を発表しています。これは、日本人の典型的な食事の中に、胃ガンになる危険性の高い食品(加工魚類・漬物など)が多く含まれ、西洋野菜・牛乳など胃ガンになる危険性の低い食品が少ないことによると考えられています。

胃ガンになる危険性の高い食品・低い食品について、少し具体的に説明しましょう。たとえば、サンマの開きとハクサイの漬け物を同時に食べたとしても、すると、魚からは多種多様なアミンという化合物が胃でつくられます。一方、漬け物には多量の硝酸塩が含まれており、口や胃の中で細菌の作用を受けて亜硝酸という物質に変化します。

この亜硝酸は、胃の中で前述のアミンと容易に化学反応を起こし強い発ガン性のあるN-ニトロソ化合物になります。ですから、私たちがこのような食事をしばしばとると、胃ガンになる可能性は非常に高くなるわけです。N-ニトロソ化合物が、ガンをつくる過程を少し説明します。まず、第一段階は、この化合物から生じたアルキル基が核酸(DNA、RNA)細胞内で遺伝情報を伝える働きをする。と反応(アルキル化反応という)して、細胞に突然変異を起こさせることだと考えられています。この突然変異を起こした細胞がガン細胞にまで変化するには、さらに第二段階として、ガン化を促進する物質が作

婦人週間によせて

自律神経失調症

— ストレスが招く身体の変調 —

町福祉課

何となくだるい、やる気が起らない...という事はありませんか?どこか悪いのでは?と内科を受診しても「何ともない」と言われた。こんな時は自律神経失調症を疑ってみる事も必要です。自律神経とは、内臓の働きを自動的に調節する役目があり私達の意志とは関係なく働いている神経で、気分を緊張気味にする交感神経と心身をリラックスさせる副交感神経からなっています。この二つの神経のバランスが崩れる状態を自律神経の失調といい、これはストレスが

原因で起こります。ストレスを受けやすい人はどちらかというとやせたタイプに多く、また更年期の女性はホルモンのバランスが崩れる為、自律神経失調症になりやすいといわれています。自律神経失調症は必ず治る病気です。しかし、今日受診して明日治るというものではありません。診断されたら医師を信頼してじっくり気長に治しましょう。また自律神経失調症にならない為にスポーツで汗を流したり、家族でドライブするなど気分転換を心がけましょう。

用する必要があります。

私たちの最近の研究によると、N-ニトロソ化合物には、ガン化を進める作用もあって、その作用はアルキル化反応を起こすことによって生じることがわかっています。これは、他の研究者によって行われたさまざまな実験の報告とも一致しています。

次に、牛乳や西洋野菜に代表される胃ガンになる危険性の低い食品について考えてみます。

食品の摂取量と胃ガンの発生率との関連性を調べた研究によれば野菜類は、日本を含めた世界各国で胃ガンになる危険性の少ない食品であることがわかっています。

しかし、最近の研究によると、牛乳の効果に関しては、野菜ほどはっきりしていません。

たとえば、前述したハワイの日系人についての研究でも、一世の人に対しては胃ガン抑制効果が認められますが、二世になると明らかに効果は認められないと報告されています。

日本人についての研究では、約十年前の平山雄博士（国立ガンセンター部長）らの研究によると、牛乳の胃ガン抑制効果が報告されていますが、最近の報告では、そのようなはっきりした効果は認められていません。

●飲むタイミングで

効果がまったく違う

なぜこのような矛盾した研究結果が出るのかを考える前に、牛乳や野菜のN-ニトロソ化合物に対する作用について説明しておきましょう。

筆者は、胃ガンの原因物質の一つと考えられているN-ニトロソ化合物について、そのアルキル化反応と牛乳や野菜との関係を調べました。

その結果、牛乳・野菜にはアルキル化反応をおさえる働きのあることがわかりました。また、これらの食品は、実験的にも細胞の突然変異を防ぐ作用のあることが知られています。こうした結果から牛乳や野菜は、胃ガンの原因物質を不活化化することにより、胃ガン抑制作用を発揮すると考えられているのです。

ここで重要なことは、牛乳や野菜は、原因物質と同時に存在してはじめてその抑制効果が現れるということです。つまり胃ガンの危険性の高い食品をとったときに、すぐ牛乳や野菜をとると、効果が期待できるわけです。

では、なぜ牛乳の胃ガン防止効果が、最近の調査では、それほど明らかでないのかを考えてみましょう。

日本人の食生活は欧米化が急速に進み、牛乳の摂取量はふえています。しかし、ちよつと考えてみると、牛乳は健康的で手軽な「飲み物」として、その摂取量を伸ばしており、胃ガン抑制作用を発揮する食事時の飲用は、それほどふえていないように思えます。つまり、胃ガン予防と直接関係のないところで牛乳の摂取量がふえたため、胃ガン防止と牛乳との関係が現われなくなったの

だと想像できるわけです。今日の日本の「和洋折衷」の食生活は、世界で最も理想的といわれています。しかし、日本が世界一の胃ガン多発国であるのも事実です。

この互いに矛盾するような目的を達成するためには、これ以上食事が欧米化するのを防ぎ、胃ガン原因物質を不活性化作用のある牛乳を、上手に利用することが効果的だろうと考えられます。それには、食後に（つまり胃の中で胃ガン原因物質ができているときに）適量の牛乳を飲む習慣をつけることが大切だろうと思われま

昭和59年度農業所得税手続き終る!!

結果は下記の通りとなりました。

申告納税者戸数 180戸(前年度比51戸増)
納税金額 21,081千円(前年度比2,503千円増)
※今年はい帳義務制度の初年度。記帳もれのないよう注意を!!

お知らせ

5月1日から
業務時間が
変わります

〈事務所〉

平日 8時30分～17時まで
土曜日 8時30分～12時まで

ただし、金融窓口は第2土

曜日休業

〈ストア〉

月曜日～土曜日

9時30分～18時30分まで

〈生産資材店舗〉

平日 8時30分～17時まで
土曜日 8時30分～12時まで

ただし4月13日～8月31日まで

では土曜日を平日業務といたします。8時30分～17時まで

〈スタンド〉

月曜日～土曜日

8時30分～18時まで

〈人工授精業務受付〉

平日 7時30分～13時まで

日曜・祭日

7時30分～10時まで

検査成績

3月	乳量	前年比
上旬	1,336,330.0	104.7
中旬	1,356,860.0	103.9
下旬	1,522,600.0	104.5
3月計	4,215,790.0	104.4
4月より累計	58,555,710.0	103.1

月別	ランク				
	0	1	2	3以上	
2	59	811	63	8	0
	60	809	62	3	2
3	59	813	56	9	4
	60	764	103	6	0

氏名	上旬	中旬	下旬	氏名	上旬	中旬	下旬	氏名	上旬	中旬	下旬	
西山一義	0	0	0	真野光章	0	0	0	武田淳志	0	0	0	
佐々木邦彦	0	0	0	寺島亨	0	0	0	後木意子	0	0	1	
赤波江一芳	0	0	0	佐藤憲治	1	1	0	久保栄興	0	0	0	
日下正毅	0	0	0	佐藤忠和	0	1	0	新井真博	0	0	0	
加茂正政	1	0	0	佐藤藤男	0	0	0	片野	0	0	0	
佐々木政盛	0	0	0	塩田専治	0	0	0	第二俣落地区				
三友盛行	0	0	0	五十嵐徳次	0	0	0	西村徳守	0	0	0	
高島貞信	0	0	0	田中本輝	0	0	0	西垣洋	0	0	0	
福田一雄	1	0	0	山安達秀夫	0	0	0	保科清	0	0	0	
古本多萌	0	0	0	志賀和詔	0	0	0	岡喜代之助	0	0	0	
中村敏夫	0	0	1	志賀正一	0	0	0	田代昭則	0	1	0	
真野勇夫	0	0	0	篠永治栄	0	0	0	井ノ口定昭	0	0	1	
多田俊夫	1	0	1	俣落地区					安江孝男	0	0	0
小田岩正	1	0	0	原一夫	0	0	0	銀持昭	0	0	0	
伏見一平	1	0	1	木敏司	1	0	0	斎藤靖	0	0	0	
中川一	0	0	0	小林金司	0	0	0	山口宏幸	0	0	0	
武佐地区				板橋寿昇	1	1	0	冲松秀一	1	0	1	
丹羽孝賢	0	0	0	岩井部一好	0	0	0	片岡宅次	0	0	0	
丹羽哲一	0	0	0	服遠藤幸一	1	0	0	弾原正春	0	0	0	
中上原徳保	1	0	0	遠藤幸文	0	0	0	国光直昭	0	0	0	
工藤正儀	0	0	0	高橋村晴	0	0	0	遠藤直行	0	0	0	
舟橋清高	0	1	0	小山村茂	0	0	0	佐伯栖寛	0	0	0	
酒井清隆	0	0	0	小本村正	0	0	0	川村清身	1	0	0	
目黒雅美	0	0	0	管原弘志	0	0	0	加藤藤繁	0	0	0	
工藤光彦	0	0	0	村上弘重	0	0	0	萩原蝶七	0	0	0	
児玉慶和	0	0	0	上村力	0	0	0	星野本広	0	0	0	
白田精一	1	0	0	上村正通	0	0	0	滝ヶ平義明	0	0	0	
川上隆寿	0	1	0	松本信雄	0	0	0	内山明治郎	0	0	0	
長谷川武	0	0	1	藤原藤忠	0	0	1	八木浦健雄	1	1	0	
花尻由治	0	0	0	遠阿上ヶ島利春	0	0	0	中前秀隆	0	0	0	
中奥村信二	0	0	0	山崎清一	1	0	0	町川芳喜	0	0	0	
萱岡昌二	0	0	0	藤田誠幸	0	0	0	房川正清	0	0	0	
高塚秀夫	0	1	1	藤田一男	0	0	0	宮富沢保茂	0	0	1	
中藤原勝文	0	1	0	遠藤幸二	0	0	0	富谷村茂三	1	0	1	
林藤敏昭	0	0	0	宮田見孝	0	0	0	武藤三弘	0	0	0	
佐藤一賢	1	0	1	真部愈	0	0	0	北村一仁	1	0	0	
清原一稔	0	0	0	渡田利義	0	0	1	杉本匡視	1	0	0	
湯山幸男	1	0	1	田相武	0	0	0	田島義一	0	0	0	
門馬正文	0	0	0	太田直敏	0	0	0	佐藤幸盛	0	0	0	
中原竜	0	1	1	古谷盛政	0	0	0	飯野国雄	0	0	0	
西井信武	0	0	0	小秋山一雄	0	0	0	横田日吉	0	0	0	
土井上信晴	1	0	0	秋山勉	0	0	0	柳田治郎	0	0	0	
土井上悟	0	0	0	齐広定雄	0	0	0	青木喜三	0	0	0	
小沼正信	0	1	0	半沢勇雄	0	0	0	青木ふさ子	0	0	0	
熊谷雪	0	0	0	笠原良夫	0	0	0	関又左門				
山本	0	0	0					横田好一	0	0	0	

質のよいミルクをつくるために これだけは守りましょう。

6つのルール

- 手と乳房を清潔にすること
- 搾乳装置を正しく選び正しく使うこと
- ミルクの適切な冷却と貯蔵
- 搾乳が終るたびに洗浄
- ライナーとミルクチューブの定期交換
- ミルクシステムの定期点検

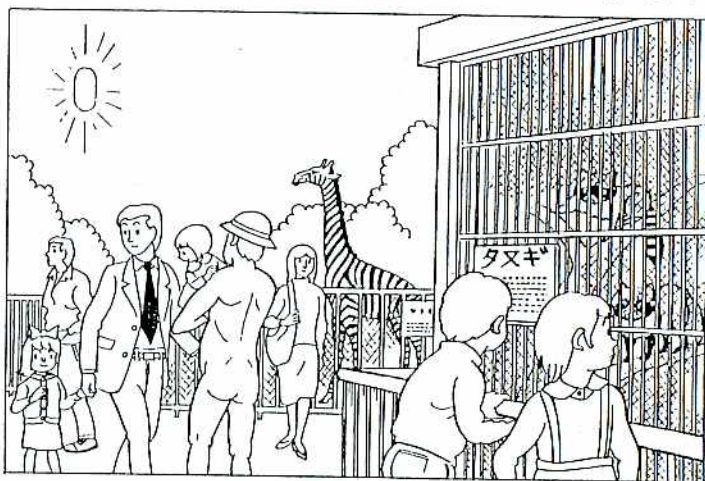
※検査ランク2の場合は当日出荷乳量に1kg当り5円、3以上の場合には50円のペナルティが課せられます。

3月乳質

氏名	上旬	中旬	下旬
鈴木修	0	0	1
高橋一男	2	1	1
高平幸夫	0	0	0
中本利要	0	0	0
半沢利平	0	0	0
国見一男	0	0	1
国見実	0	0	1
斉藤哲雄	0	0	0
斉藤栄七子	0	0	0
伊藤秀清	0	0	0
千藤正行	0	0	0
村井隆	0	0	0
山崎信夫	0	0	0
後藤須清	1	0	0
今井靖清	0	1	1
山田昭男	0	1	0
房川喜延	0	0	0
井上亮夫	0	0	0
笠井剛	0	0	0
赤堀岩男	0	1	0
鈴木敏夫	1	0	0
開木牧場	1	1	1
俵橋地区			
名越優	1	0	0
乾雅晴	0	0	0
乾洋	0	0	0
伊東武	0	0	0
大山下富雄	0	0	0
北川孝二	1	0	0
水川栄治	0	0	0
水本正二	0	0	0
水本みどり	0	0	2
山本清	0	0	0
榎田英雄	2	0	0
穴吹貞明	0	0	0
佐藤きえ子			
佐々木昭雄	1	0	0
野口史郎	0	0	0
太田功	1	2	0
岡次郎	0	0	0
金子安有	0	0	1
高野国雄	0	0	0
中林勇	0	0	0
工藤隆弘	0	0	1
赤波江清	0	0	1
沢口俊夫	0	0	0
桜井義雄	0	0	1
西山健	0	0	0
大西一郎	1	1	0
大西英明	0	0	0
福島昭憲	0	0	0
下川政市	0	0	0
三輪貞夫	0	0	0

氏名	上旬	中旬	下旬	氏名	上旬	中旬	下旬
飯島光五郎	0	0	0	長瀨貞義	0	0	0
飯島清市	0	0	0	石崎多門	0	0	1
奥田勝佳	0	0	0	林仁一郎	0	0	0
奥田建雄	0	0	0	高藤祐藏	1	0	0
中山進	0	0	0	連田弘	0	0	1
中野俊勝	0	0	0	永谷雄幸	1	0	0
鈴木祥幹	0	0	0	長縄弘	0	0	0
西垣丈夫	0	0	0	麻郷地忠勝	1	0	0
小原治	1	1	0	小針晴信	0	1	1
吉田正行	0	0	0	花川秀一	1	0	0
竹村満常	0	0	0	古沢翠	0	0	0
高筒橋富男	0	0	1	花井輝	0	0	0
筒井良秋	0	0	0	岡部実	0	0	0
室井祐二	0	0	0	渡辺善行	0	0	0
安田一男	1	0	1	松隈健二	0	0	1
山田吉正	0	0	0	古瀬久	0	0	0
舟田正義	0	0	0	藤本清	1	1	0
菊地良	1	1	0	佐藤嘉	0	0	0
遠田要三	0	0	0	佐藤末美	1	1	1
西山隆一				佐藤拓	0	1	0
長正路清	0	0	0	佐藤永雄	0	0	0
大野富夫	0	0	1	佐藤東	0	0	0
吉成ハナ子	0	0	0	望月幸男	1	0	0
福村守	0	0	0	白築政博	0	0	0
遠藤弘成	0	0	0	武田勇	2	0	1
唐崎幸司				高橋敏夫	0	0	0
				熊倉吉夫	0	0	0
				小阿部正六	0	0	0
				阿佐藤三男	0	0	0
				開陽地区			
				土井上昭男	1	1	0
				向館金吾	0	0	0
				山田輝男	1	0	0
				浅野トミ子	0	0	0
				吾妻紀己夫	1	0	0
				鈴木高			
				桜井寿夫	0	0	2
				高橋勝義	0	0	1
				中本栄二	0	0	0
				丸田良夫	0	0	0

間違いさがし



この絵の中には、いくつ間違いがあるでしょうか。間違いを見つけて、その数をハガキに書いて送って下さい。

〔応募規定〕

①官製ハガキに答えを書いて送って下さい。

②あなたの氏名・住所・年令を書いて下さい。

③対象者 小・中学生

④宛先 中標津町東七条南二丁

目 中標津町農協組織広報係

⑤締切日 四月二十日まで

*応募下さった方には全員参加賞を差し上げます。なお、正解者には当り賞を贈呈いたします。

ますので多数応募下さい。

*発表は六月号紙面で行います。

〔二月号の当選者〕

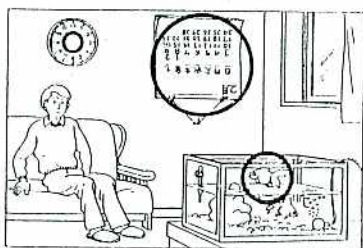
二月号の正解は「三つ」(下の

図の○印)でした。応募者数二

十二名で正解者は十二名でした。正解者は次のとおりです。

- 俵 橋 乾 純くん
- " 乾 亜矢ちゃん
- " 乾 かおりちゃん
- 高 嶺 小林健一くん
- 豊 岡 白築 萌ちゃん
- " 白築 出ちゃん
- 西武佐 佐藤 修くん
- 南俣橋 伏見さおりちゃん
- " 伏見ゆう子ちゃん
- 開 陽 山崎千代美ちゃん
- " 山崎里美ちゃん

〈2月号の間違い箇所〉



知っておきたい

税の知識

〈根室税務署〉

表紙写真

今月号の表紙写真は奥平地区の秋山悦子さん二十五才です。彼女は六人兄弟の末っ子として別海町のサラリーマンの家庭で育ちましたが、酪農に対する知識や経験が全くなかったため、嫁いだ時は大変不安だったようです。

結婚して五年目の今では、牛舎の仕事も一人前になりましたが、これからは、高校時代、バレーボールで全道大会に出場したガンバリで、トラクター作業に挑戦したいという意欲的な若奥さんです。



◎確定申告が間違っていたときは

確定申告書を提出した後で、計算違いなど申告内容に間違いがあることに気付いた人は、お早めに次の手続きをしてください。

〈税額を多く申告していたとき〉

申告した税金が多かったことに気付いたときは、正しい金額にするために「更正の請求」をすることが出来ます。

この更正の請求ができるのは申告期限から一年以内です。

〈税額を少なく申告していたとき〉

申告した税金が少なかったことに気付いたときは、正しい金額にするために「修正申告」をしてください。税務署から調査を受ける前に自主的に修正申告した時は、過少申告加算税がかかりませんので、なるべく早く手続きされた方が有利です。

手続きなどで分からない点がありましたら、最寄りの税務相談室か税務所で、ご相談ください。